



No.147

2022.7.20

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

## 図書館 夏季休業中の開館

7/21(木) ~ 7/29(金)

9:00~16:00

\*8月は図書館整備のため閉館します

**長期貸出の返却期限は 9/2(金)**

\*7/12(火)以前に借りた本は、返却または  
延長手続きに来てください。



### 『あめつちのうた』 朝倉 宏景【著】

運動神経ゼロの雨宮大地は高校卒業後、野球の聖地・甲子園で働くことに。グラウンド整備を請け負う職人集団「阪神園芸」の新人として憧れの地を踏むも、仕事は失敗続き。落ち込む大地だったが…。

### 『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷 はるか【著】

普通の女子高生が、インドで暮らすことに。格差社会の光と影、豊かさへの本質と疑問を鋭く描く、女子高生視線のインド滞在記。

### 『四角六面キューブとわたし』

ルービック、エルノー【著】

1974年に考案、世界中で10億個以上売れたと言われるルービック・キューブの発明者、エルノー・ルービック初の自伝。彼の感性や思想は、シンプルかつ深遠だ。富や名声に執着しない彼はどのようにキューブを生み、キューブから何を学んできたのか。

『ニワトリと卵と、息子の思春期』 繁延 あづさ【著】  
「ゲームを買って」と言っていた長男が、代わりにほしいと言ったのは、なんとニワトリだった！実現に向けて奔走する息子と、母の葛藤。親子が迎えた成長の季節に、ニワトリのいる新しい風景が加わった。

『映画を早送りで観る人たち—ファスト映画・ネタバレ—コンテンツ消費の現在形』 稲田 豊史【著】

なぜ映画や映像を早送り再生しながら観る人がいるのか。—なんのために？それで作品を味わったといえるのか？著者の大きな違和感と疑問から始まった取材は、やがてそうせざるを得ない切実さがこの社会を覆っているという事実突き当たる。

『紛争地のポートレート —「国境なき医師団」看護師が出会った人々』 昆布山葵【著】

暴力が渦巻く場所で懸命に生きる市民。人道援助に力を尽くす医療者。彼らを支える技術者。現地になくとも、後方でバックアップするスタッフと、寄付で支援する善意の人々。「国境なき医師団」看護師が見た紛争地医療のリアル。



『現代社会で乙女ゲームの悪役令嬢をするのはちょっと大変』 二日市 とひろ【著】

乙女ゲームの悪役令嬢・桂華院瑠奈に転生してしまった主人公。舞台はバブル崩壊後の現代日本。彼女は前世の知識を活かして破滅へと向かう自身や身内の立て直しを図る。さらに破綻寸前に陥った銀行の買収、様々な企業の救済に奔走。やがて大物政治家とも関わるようになり…。

## 『サマーゴースト』

loundraw【原案】/乙一【小説】

“死ぬってどんな気持ちですか？” 俊英 loundraw 監督の映画を乙一が小説化！！花火と幽霊を巡る青春群像劇。

## 『人類冬眠計画—生死のはざまに踏み込む』

砂川 玄志郎【著】

フィクションの世界でよく題材にされ、人々の間でイメージが出来上がっている人工冬眠。日々研究開発に挑む研究者としての自身の体験や想いをふんだんに交えながら、「人類冬眠計画」を披露する。

## 【その他の新着図書】

米澤屋書店	米澤 穂信	文学
人の心に働きかける経済政策	翁 邦雄	経済
タリバン台頭—混迷のアフガニスタン現代史	青木 健太	政治
検察審査会—日本の刑事司法を変えるか	ジョンソン・T.	法律
これからの住まい —ハウジング・スモールネスの時代へ	川崎 直宏	社会
[読む]という冒険—イギリス児童文学の森へ	佐藤 和哉	文学
私たちのサステナビリティ —まもり、つくり、次世代につなげる	工藤 尚悟	建設 工学
進化の謎をとく発生学 —恐竜も鳥エンハンサーを使っていたか	田村 宏治	動物学
漢字ハカセ、研究者になる	笹原 宏之	言語
作家たちの17歳	千葉 俊二	文学
〈必要〉から始める仕事おこし —「協同労働」の可能性	日本労働者協同組合連合会【編】	経済
福島 人なき「復興」の10年 —フォト・ルポルタージュ	豊田 直巳	社会 福祉
学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか	広田 照幸	教育
ヤングケアラーってなんだろう	澁谷 智子	社会
人新世の科学 —ニュー・エコロジーがひらく地平	シュミツツ, オズワルド	生態学
元素生活 完全版	寄藤 文平	化学
人類冬眠計画—生死のはざまに踏み込む	砂川 玄志郎	医学
ピーナッツ大図鑑—スヌーピーとチャーリー・ブラウンと仲間たちのすべて	ピークロフト, サイモン	絵画
物語 ウクライナの歴史	黒川 祐次	歴史
捜査線上の夕映え	有栖川 有栖	文学
幼女戦記 5~7	カルロ・ゼン	文学

ハタリアWorld★Stars 1~7	日丸屋秀和	コミック
心霊探偵八雲〈10〉魂の道標	神永 学	文学
夏目友人帳 〈第28巻〉	緑川ゆき	コミック

ぶらり選書 2学年主任 清水先生

タイトル 『2030年すべてが「加速」世界に備えよ』

” The Future is Faster than You Think”

How Converging Technologies are Transforming Business, Industries, and Our Lives

ピーター・ディアマンディス&スティーブン・コトラー

第4章 「加速が加速する」

第5章 「買い物の未来」

第6章 「広告の未来」

第7章 「エンターテインメントの未来」

第8章 「教育の未来」

第9章 「医療の未来」

第10章 「寿命延長の未来」

第11章 「保険・金融・不動産の未来」

第12章 「食料の未来」

第13章 「脅威と解決策」

第14章 「5つの大移動がはじまる」

この本のタイトルの原題を和訳すると「未来は君が思っている以上に加速しているぞ!~技術(Ai やら何やら)の融合がビジネスや産業や私たちの生活をどのように変えていくか!」となる。

何が変わるの?それを示しているのが目次。ほら、君たちの生活に関係の深いことが挙がっているでしょ!これらをはじめ、いろいろなことが近いうちに劇的に変わるんだって。

なぜ、この本を取り上げたかって?それは、進路実現を控えている君たちに、近い将来、世の中がどのように変わるのかを知っておいてほしかったから。企業も大学も短大も専門学校もみんな2030年に活躍できる人がほしいわけだから。”converge”とは融合を意味するのだけど、君たちが考えるビジネスや社会のしくみも、様々な技術とアイデアを融合して提示しなければならなくなってしまうんだ。だからこそ、この本を読んで「先見の明」がある人物であることをアピールしてほしいな。